

第1回 大川小学校・熱川小学校等統合準備会

平成29年4月28日（金）午後7:00～
東伊豆町立図書館2階 視聴覚室

次 第

1 開 会 （事務局）

2 挨拶 東伊豆町教育長 黒 田 種 樹

3 議 題

（1）大川小学校・熱川小学校等統合準備について

①本会の設置について

②本会委員の委嘱について

③各園・学校及び教育委員会の統合準備の状況と課題の検討

4 閉 会

*次回準備会の開催予定：平成29年7月下旬 19:00～ 町立図書館

大川小学校・熱川小学校等統合準備会設置規程

(平成29年3月3日東伊豆町教育委員会規程第2号)

(設置)

第1条 大川小学校と熱川小学校の統合及び大川幼稚園と熱川幼稚園の統合に関し、必要な準備、検討及び調整を図り、両校・両園の統合を円滑に進めるため、大川小学校と熱川小学校等の統合に関する準備会（以下「準備会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 準備会は、次の各号に掲げる事項について調査及び協議を行う。

- (1) 教育課程、学校・園の行事等に関すること
- (2) 通学・通園に関すること
- (3) 学校・園、PTA活動等の組織運営に関すること
- (4) 設備及び備品に関すること
- (5) 閉校・閉園及び開校・開園記念事業に関すること
- (6) その他統合に関し必要となる事項

(組織)

第3条 準備会は、学校・園の職員、保護者の代表及び地域住民の代表の中から東伊豆町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する委員をもって組織する。

(会長及び副会長)

第4条 準備会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は東伊豆町立熱川小学校長、副会長は東伊豆町立大川小学校長をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総理し、準備会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 準備会の会議は、協議する内容に応じ、会長が関係する委員を招集する。

- 2 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。
- 3 会議には、必要に応じて関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第6条 準備会の庶務は、東伊豆町教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第7条 この規定に定めるもののほか、準備会の運営に関して必要な事項は、会長が準備会に諮って定める。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成30年4月1日に限り、その効力を失う。

大川小学校・熱川小学校等統合準備会委員名簿

◎任 期：平成29年4月1日～平成30年3月31日の1年間

氏 名	選 出 母 体	備 考
須 藤 裕 文	熱川小学校校長	会 長
進 士 真	大川小学校校長	副会長
佐 藤 泰 志	熱川小学校教頭	
力 石 和 彦	大川小学校教頭	
横 山 尋 司	熱川中学校校長	
太 田 輝 美	熱川幼稚園園長	
進 士 真	大川幼稚園園長（兼任園長）	
星 野 正 雄	熱川小学校 PTA 代表	
小 倉 伸 一 郎	〃	
柚 田 雅 敏	大川小学校 PTA 代表	
岩 室 憲 兒	〃	
鳥 澤 善 久	熱川幼稚園 PTA 代表	
野 口 康 子	〃	
稲 葉 宣 明	大川幼稚園 PTA 代表	
稲 葉 保	大川区区長	
野 崎 元 廣	北川区区長	
太 田 正 一	奈良本区区長	

大川小学校・熱川小学校等統合準備について

(平成29年4月28日 現在)

1 学校行事(交流)等について

(担当: 幼稚園長・主任、小校長・教頭)

- 3月 1日 小学校1日交流実施
- 6月20日 大川小水泳(予定)
- 6月27日 小学校1日交流(予定)
- 9月 幼稚園1週間交流(予定)
- 9月15日 小学校1日交流・授業参観・懇談会(予定)
- 10月 幼稚園1週間交流(予定) *熱川幼稚園運動会
- 12月 幼稚園1週間交流(予定)
- 1月29～31日 小学校3日交流

*統合に向けての計画(参照)

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

2 統合準備会について

(担当: 小校長、教育委員会)

- 4～5回開催予定(必要に応じて部会も開催)
- 会議録(要旨)を作成し、町HP等で公表

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

3 PTA活動について

(担当: 両園・両校のPTA運営委員会、PTA担当教職員)

- 次年度以降の新たな組織について協議・検討
 - ・規約の改正・活動事業(奉仕作業等)・協定服について(リサイクル等)

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

- 次年度以降の組織編制の具体案作成
- 次年度以降の奉仕作業等PTA活動案作成

4 閉園・閉校記念誌、記念品制作について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表)

- 別紙1：大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について
(記念誌の内容案)
- スケジュール確認 (H30年1月：製本業者へ依頼予定)
・資料収集・原稿依頼と締切日

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

- 5月：部会を設置し、内容確認と仕事分担、記念品の決定
- 6月：資料収集呼びかけと原稿依頼

5 閉園・閉校式典について

(担当：教育委員会、大川幼主任・大川小教頭、PTA 代表)

- 閉園・閉校式の日程調整 (離任式と同日?)
- 閉園・閉校式の次第 (内容) の検討
- 出席者原案
- 記念品の選定：校歌 CD 制作、校歌オルゴール制作 (両方制作するか?)

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

- 5月：部会設置 (記念誌制作部会と兼ねる)、次第 (式典内容) 案確認
- 6月：次第 (式典内容) 案確認、出席者原案、記念品選定

6 大川幼・小の備品・文書処理について

(担当：教育委員会、大川幼主任、大川小教頭・事務)

- 移動・整理 (廃棄) 備品の確認 (備品台帳との照合、他校要望品の調整)
- 大川小跡地利用との関係
- 図書 of 整理
- 文書処理 (文書管理規定の確認)
- 備品及び文書の移動・廃棄作業
- 給食費等金融機関との調整

《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

- 移動備品確認検討（両園主任、両校教頭・教科主任・事務）
- 備品台帳との照合（園主任、教頭・事務）
- 文書管理規程確認（教育委員会）
- 耐火鉄庫内整理（大川幼主任、大川小教頭）
- 耐火鉄庫内確認（園長・主任、校長・教頭・教務・事務）

7 教育課程、学習指導、生徒指導について

（担当：両園・両校）

- 教育課程（教務主任）
 - ・両園両校擦り合わせ：本年度実施内容、次年度計画等
 - 学習指導（研修主任）
 - ・両園両校確認：研修内容（基礎学力等）、各教科学習状況等
 - 生徒指導（生徒指導主任）
 - ・両園両校確認：学校のきまり、地区会、児童会組織等
- 《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

8 通園・通学バスについて

（担当：教育委員会・園・学校）

- 交流計画の中で実際にバスを運行し、運行方法等検討
（運行計画・実施体制）
- 《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

9 大川小学校跡地利用の検討について（担当：町）

- 町企画調整課と大川区において、協議・検討中
- 《ご意見等》

10 保護者・地域への説明会開催について（担当：教育委員会）

- 4月13日熱川幼・小PTAに対し実施

- 4月26日大川幼・小PTAに対し実施
 - 随時開催（共に計3回程予定）
- 《ご意見等》

《次回までに行う作業等》

11 その他

別紙 1

◎大川幼稚園・大川小学校閉園閉校記念誌制作について

○記念誌の内容（南伊豆町立三浜小の例を参考とした。）

(1) 大川小学校の校旗、校歌 *大川幼稚園？（何かそれに代わるもの）

(2) あいさつ

①東伊豆町長

②東伊豆教育長

③大川幼・小 PTA 会長

④大川幼稚園長・大川小学校長

(3) 写真集

①開校から現在までの写真

②卒業生（集合写真）

③29年度の園児・児童の活動写真

(4) 文集

①卒業生（ 人）

②29年度の子ども

③保護者（ 人）

(5) 園・学校の沿革

(6) 歴代校長一覧

(7) 歴代 P T A 会長一覧

(8) 記念誌編集委員・平成29年度教職員

(9) 編集後記

平成 28 年 7 月 28 日

東伊豆町教育長 黒田 種樹 様

東伊豆町学校教育環境整備委員会
会長 鈴木 優

東伊豆町学校教育環境整備に関する中間答申

平成 27 年 7 月 28 日付、東伊教第 1091 号により諮問のありました事項について、これまでに 6 回の委員会を開催し、審議した内容を下記のとおり中間答申いたします。

記

1 諮問事項

- (1) 東伊豆町における町立幼稚園・小学校・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方について
- (2) 東伊豆町における町立幼稚園・小学校・中学校の規模及び配置の適正化に向けた再編整備等具体的な方策について

2 中間答申

大川幼稚園・大川小学校については、一定の人数が確保された環境で教育を進める目的から、熱川幼稚園・熱川小学校との「統合が望ましい」とする。

3 中間答申にあたって

本委員会は、東伊豆町全体の幼・小・中の教育環境の整備について検討を行う場として設置されたものである。しかし、協議を重ねる中で、大川幼稚園、大川小学校の園児・児童数が急激に減少している現況と今後の見通しから、早急に熱川地区との統合について検討を進める必要があるとの意見に達した。そこで、町と教育委員会より、大川地区の保護者や地域住民への説明会及びアンケート調査を実施し、意見の収集と丁寧な話し合いを行うよう依頼した。

- (1) 大川地区においては、これまでに保護者説明会 3 回、地区住民説明会 2 回、保護者に対してのアンケート調査 2 回が行われた。

その結果、話し合いでは、「子どもの将来を考えると、一定の人数が確保された学級で社会性等を身に付けることが大切である」といった統合賛成の意見や、「現在進めている少人数での教育には大きなよさがあり、是非存続したい」という存続を求める意見の両方が出されている。どちらの意見も、子どもたちの教育環境がどうあったらいいかについて、それぞれの立場から述べられた貴重な意見であると考えられる。

一方、保護者へのアンケート調査では、「統合に賛成」が 46.7%、「条件次第」が 26.7%であった。この「条件次第」と回答された方々は、多くの不安感を抱

き悩まれていることと思われる。全面的に「賛成」とは言えないが、子ども達の将来のために教育環境や条件が良い方向に整うのであれば、「賛成」と考えられている方々である。この回答を合計すると73.3%となり、統合することにより、多くの子どもたちと学ぶ教育環境を求めている保護者の意見がこれだけあるということを重ねて受け止めたい。

本委員会では、複式学級のある規模の学校における教育上の課題と、子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質・能力を伸ばしていくという学校の特質を再確認した。また、学校教育の直接の受益者である幼児・児童の保護者の声を重視するべきであるとの考えで一致した。その過程を踏まえ、統合が望ましいとの結論に達したものである。

(2) 付 帯 条 件

(ア) 教育委員会策定の「統合に関する提案書」を礎として、統合を進めるに当たっては、町・教育委員会は、大川地区・熱川地区との丁寧な話し合いを行い、保護者や地域住民の理解を深めながら条件整備を行うこと。

(イ) 園児・児童が新しい環境へ円滑に移行し、かつ、安全な登下校の確保がなされること。

東伊豆町住民 各 位

東伊豆町長 太田 長八

東伊豆町教育長 黒田 種樹

東伊豆町総合教育会議の協議結果について（報告）

平成 28 年 9 月 21 日、総合教育会議を開催し、大川幼稚園と熱川幼稚園及び大川小学校と熱川小学校を統合することについて、協議した結果を下記のとおり報告する。

記

1 協議結果

総合教育会議では、学校教育環境整備委員会の中間答申、大川地区住民説明会、大川地区の子どもを持つ保護者を対象としたアンケート結果の内容を踏まえ、慎重に協議した結果、次の結論に至った。

- 大川幼稚園と熱川幼稚園及び大川小学校と熱川小学校の統合は必要である。
- 統合の時期は、「平成 30 年 4 月 1 日」とする。
- 統合する場合の園・学校の位置を熱川幼稚園・熱川小学校の位置とする。

*参考：東伊豆町学校教育環境整備委員会・中間答申

大川幼稚園・大川小学校については、一定の人数が確保された環境で教育を進める目的から、熱川幼稚園・熱川小学校との「統合が望ましい」とする。

2 協議の内容

東伊豆町及び東伊豆町教育委員会は、幼稚園・小・中学校の児童生徒数の減少が急激に進む中、子ども達がこれからの変化の激しい社会で生きていくためには、社会性とコミュニケーション能力を身に付けさせることが大変重要であり、そのためには、やはり多くの子ども達が関わることのできる教育環境の整備が必要不可欠であるといった考えを基本としている。その状況下において、特に園・学校の小規模化の現状が顕著に現れている大川幼稚園と大川小学校の教育環境の改善のためには、20～30名程度の一定の集団規模があり、通園・通学についても、10km未満といった地理的条件に位置する、熱川地区の幼稚園・小学校との統合が最善と考える。

また、大川幼稚園・小学校の今後の入園・入学児童も1～2名が続き、現在の3歳児は0人といった状況から、早急な対応を図る必要があるため、「平成 30 年 4 月 1 日」を統合の時期としたい。

今後、統合するにあたり、最善の統合となるよう協議するための準備会等を設

け、更に具体的にすすめることとする。

別表1 学校教育環境整備委員会の概要、開催状況

名 称	東伊豆町学校教育環境整備委員会
目 的	未来を担う子ども達のために、東伊豆町の教育環境のあり方について検討し、町全体としての方向性を示す答申を平成27・28年度の2年間でを行い、もって東伊豆町の教育環境の改善に寄与すること。
諮 問 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・東伊豆町における町立幼稚園・小学校・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本的な考え方について ・東伊豆町における町立幼稚園・小学校・中学校の規模及び配置の適正化に向けた再編整備等具体的な方策について
組 織	保育園・幼稚園・小・中学校の保護者代表、区長会代表（地域住民代表）及び学識経験者の19名で組織した。

開催日	回数	主な検討事項
平成27年7月28日	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の小規模化、専門教科教職員の確保について ・小規模校のメリット・デメリットについて ・学校と地域の関係について
平成27年9月28日	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の本来のあり方について ・大川地区幼小の小規模化の現状と今後の見通しについて（熱川地区との統合の検討） ・学校と地域の関係について
平成27年11月20日	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・大川地区への現状等の説明と意見収集について（町及び教委に対する指示） ・町としての方針の明確化について
平成28年3月4日	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・大川地区説明会とアンケート結果の報告について ・町としての方針の明確化について ・大川住民の不安、心配解消のための回答について ・他自治体の取り組み事例について
開催日	回数	主な検討事項
平成28年5月31日	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・大川地区説明会とアンケート結果の報告について ・大川幼小と熱川幼小の統合について（中間答申案作成）
平成28年7月19日	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・大川幼小と熱川幼小の統合について（中間答申書決定） ・当町全体の幼小中のあり方について
平成28年7月28日	—	◎教育委員会に対する中間答申

別表2 学校教育環境整備大川地区説明会の開催状況

開催日	回数	主な説明事項
平成28年1月12日	第1回	(保護者対象) <ul style="list-style-type: none"> ・大川幼小の小規模化の現状と今後の見通し、統合の提案
平成28年1月19日	第2回	(地域住民対象) <ul style="list-style-type: none"> ・大川幼小の小規模化の現状と今後の見通し、統合の提案
平成28年2月26日	第3回	(保護者対象) <ul style="list-style-type: none"> ・第1回アンケートの報告と要望事項の回答
平成28年4月18日	第4回	(保護者対象) <ul style="list-style-type: none"> ・第2回アンケートの報告と要望事項の具体的な回答（具体的な提案書を作成）
平成28年4月25日	第5回	(地域住民対象) <ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会の内容を踏まえ、提案書・アンケート結果の説明と報告
平成28年7月6日	第6回	(地域住民対象) <ul style="list-style-type: none"> ・存続を求める意見に対する回答

平成 28 年 8 月 29 日	第 7 回	(地域住民対象) ・ 存続を求める意見に対する回答
------------------	-------	------------------------------

別表 3 アンケート結果 (大川地区の子どもを持つ保護者を対象)

時期	回数	結果
平成 28 年 2 月上旬	第 1 回	・ 依頼件数 24 件、回答件数 15 件、回答率 62.5% 賛成：8 件、反対：7 件 (うち条件次第で賛成 5 件)
平成 28 年 4 月上旬	第 2 回	・ 依頼件数 23 件、回答件数 15 件、回答率 65.2% 賛成：7 件、条件次第：4 件、反対：3 件、未記入：1 件
平成 28 年 9 月上旬	第 3 回	・ 依頼件数 22 件、回答件数 18 件、回答率 81.8% 賛成：16 件、反対：2 件

大川幼稚園・大川小学校統合に関する提案書

平成28年3月30日
東伊豆町教育委員会

1 統合の方式

大川幼稚園と熱川幼稚園、大川小学校と熱川小学校を統合する。

- ・幼稚園名は「熱川幼稚園」、小学校名は「熱川小学校」とする。
- ・園舎・校舎は現在の熱川幼稚園、熱川小学校とする。
- ・校歌・校章は熱川小学校から引き継ぐ。

2 統合の手続

統合までの準備、手続については概ね次のとおりとする。

- (1) 平成28年11月 大川幼稚園・熱川幼稚園、大川小学校・熱川小学校統合準備会幹事会の設置
(両園・両校校長、同PTA会長、教育委員会事務局)
- (2) 平成29年4月 大川幼稚園・熱川幼稚園、大川小学校・熱川小学校統合に関する準備会の設置
(園長、校長、教頭及び園・学校職員、PTA代表者、地域の代表者、教育委員会事務局)
- (3) 平成29年10月～平成30年2月 大川、熱川地区保護者・区民説明会開催
- (4) 平成30年3月 大川幼稚園閉園・大川小学校閉校 記念行事実施
- (5) 平成30年4月 熱川幼稚園入園式、熱川小学校入学式 記念行事実施

3 園児・児童交流計画(案) ※詳細は両園両校の相談により決定する

- 《幼稚園》28年度：サッカー教室・運動会・人形劇等行事、日常園生活交流・生活発表会（合同参観日も実施）等 ※熱川幼稚園で実施
29年度：28年度と同様の交流に加え、一日体験交流（バス登園からバス降園まで）を実施
- 《小学校》28年度：全学年の教科学習交流（大川小から熱小への交流）※一緒に給食 ※合同参観日の実施 ※交流には町のマイクロバスを使用
全校体育水泳（大川小から熱小への交流）※午後（熱川小プール）
29年度：海に親しむ会、収穫祭（熱小から大川小への交流）
学習交流（大川小から熱小への交流）※一緒に給食も
一日体験交流（バスでの登校からバスでの下校まで）
※子どもたちの交流の様子を観てもらおう合同参観日の実施

4 通園・通学について(案) ※詳細は統合準備会で決定

【幼稚園バス】

《登園》大川公民館 8:00～二度山商店 8:05～北川 8:10～熱川幼稚園 8:20

《降園》[月火木金] 熱川幼稚園 14:00～北川 14:10～二度山商店 14:15～公民館 14:20

[水] 熱川幼稚園 11:30～北川 11:40～二度山商店 11:45～公民館 11:50

【小学校バス】

《登校》大川公民館 7:00～二度山商店 7:05～北川 7:10～熱川小（プール横）7:25

《下校》① [5時間終了後] 熱川小 15:00～北川 15:10～二度山 15:15～大川公民館

15:20

② [6時間終了後] 熱川小 16:00～北川 16:15～二度山 16:20～大川公民館

16:25

※行事等で早く帰る日は、学校の計画に合わせてマイクロバスを運行

※1年生は4月当初は下校が早くなる日があるため、その下校に合わせて運行。

5 緊急時の基本的対応 ※詳細は各園・各校の安全計画による

- ・保護者メールアドレスの複数登録（父母・祖父母等。学校からのメールが伝わりやすくする）
- ・緊急時の連絡先複数確認（保護者、自宅、勤務先電話等。どこかで連絡がつくように）
- ・在校時の災害発生については、児童の安全確保のため、学校への留め置きを原則とする。
※児童個々の避難袋を計画的に準備し、非常時に備える。
- ・災害時引き渡し体制の整備（例：引き渡しカードによる家族への引き渡し確認の徹底等）

6 統合に関する準備会（保護者代表、地域代表、教職員代表、教育委員会）

【主な内容】・教育課程、学校行事等に関すること

- ・通学・通園に関すること
- ・学校、PTA活動の組織運営に関すること
- ・設備及び備品に関すること
- ・閉校閉園及び開校開園記念事業に関すること
- ・その他統合に関し必要となる事項

7 PTA検討委員会（PTA役員代表、教職員代表）

- ・平成29年度に各校の代表者による統合にむけて検討委員会を開催する
- ・内容は、会則、会費、役員、組織、PTA行事、児童奨励、協定服等について

8 大川のよさを活かした教育活動計画案（詳細は両園・両校で計画）

- ・海に親しむ会（学年行事として大川で実施）
- ・東伊豆町発行の郷土資料「わがふるさと」を活用し、大川の「ぼなき石」「しだれ桜」等の歴史・文化を社会科や総合的な学習で学ぶ機会を積極的に取り入れる。
- ・社会科学習で、大川のお店の見学等、地域の産業を学ぶ機会を取り入れる。
- ・ホテル祭り見学（ふるさと学級）

9 統合時の負担を軽減する配慮事項

- ・通学通園バスは全額無料（町のマイクロバスを使用）
- ・統合一年間は、協定服は着用しなくてもよいこととする。
- ・体育着・給食着・上履き・学用品等は今まで使用していた物でよい。
- ・協定服は、PTAの行っているリユースをできるだけ活用する。（熱川小PTAでの協定服提供呼びかけと、卒業生に協定服の寄付をお願いしていく）

10 教職員人事異動

- ・できるだけ多くの教員が熱川小へ異動できるように県教育委員会に働きかける。
(知っている先生が多くなることで安心感が大きくなる)
- ・統合時の児童の不安等に対応し、円滑な教育活動を行うため、県教育委員会に教職員の増員を要望する。

11 大川小跡地利用

- ・大川区と町との活用検討委員会（仮称）において、大川区民の希望をできるだけ取り入れる形で活用をすすめる。

12 統合後の追跡調査

- ・統合後の児童や教育環境のよさや課題を把握するため、児童・保護者へのアンケートを実施（教育委員会）。
- ・アンケート結果を公表するとともに、課題についての改善策を協議し（保護者・学校・教育委員会）よりよい教育環境づくりをすすめる。

保護者説明会・アンケートで出された、意見・要望事項（条件）
の主なものとそれに対する町及び教育委員会の回答

要望事項（条件）	回 答 等
○通園・通学について	<p>○通園・通学は、町のマイクロバスで行い、全額無料とする。また、将来にわたり通学バス運行を継続できるよう町の条例等を定める。</p> <p>○園バスは、白田・片瀬地区と大川・北川地区を一体的に運行する。</p> <p>○スクールバスは、登校時1便。下校時2便を基本とする。また、路線バスの併用についても検討する。 （長期休業中の通学等）</p> <p>○バス乗降場所は、原則的には、大川公民館、二度山商店前とする。</p>
○災害時の対応について	<p>○園・学校からの緊急連絡体制は、保護者・家族のメールアドレスや連絡先の複数登録等を行うことで、状況により迅速・確実な連絡がとれるようにする。</p> <p>○児童の個人用非難袋を常時保管し、災害時に学校・園で安全に避難生活が確保できるようにする。</p> <p>○現在、町道整備をすすめている。今後も災害時に通行できる道路整備に力を入れていく。</p>
○子ども及び保護者の不安解消について	<p>○統合前に、行事、学習、給食、参観日等を合同で行い、児童・保護者の交流を深め、不安の解消を図るよう計画的にすすめていく。</p>
○大川幼・小の素晴らしい教育や取組の継承、地域コミュニティを大切にする方策等について	<p>○大川のよさを活かした行事の継承を図る。 （両校・園で検討）</p> <p>○社会科学習等で、大川の見学など、地域の歴史・産業を学ぶ機会を取り入れる。</p> <p>○大川校舎の活用や地域コミュニティの活性化、道路・公園の整備等、大川区・各団体と相談しながら最善の方法を考えていく。</p>
○そ の 他	<p>○統合に関する準備会（保護者代表・地域代表・教職員代表・教育委員会で構成）を設置し、よりよい統合のあり方を検討し、準備をすすめていく。</p> <p>○統合後1年間は、協定服を着用しなくてもよいこととする。併せて、熱川小PTAでの協定服提供・寄付の呼びかけを行っていく。</p> <p>○体育着、給食着、上履き、学用品等は、今使っている物を使用。</p>